

カーボンオフセット始めてみませんか？

会社の経済活動において排出される二酸化炭素。電気やガソリンなどから発生して、地球温暖化の原因になってしまいます。新潟県では「トキの森クレジット(佐渡市)」「竜神の森クレジット(津南町)」「悠久の森クレジット(阿賀町)」「わくわくの森クレジット(魚沼市)」「銘水の森クレジット(南魚沼市)」の5つのクレジットが存在し、各地の森に二酸化炭素を吸収する「クレジット」を1トンあたり、15000円程度で購入することができます。つまり、「クレジット」を購入することで、「当社の経済活動によって排出される二酸化炭素の一部は、新潟県の森とオフセットしています。」と、環境に配慮していることを広くPRすることが可能になります。

詳しく知りたい方は、新潟県の担当者をご紹介しますので、どうぞご連絡ください。

「Eco列車でいこう！」～第100回～ 「リゾート列車と天空のカフェ」

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！) 

10月8日の日曜日、仲間4人と「秋の遠足」に出かけた。

新潟駅8番線に、素敵な電車が入線してきた。「リゾートやまどり」だ。普段は群馬県内を走っている電車だが、今日は「臨時快速 谷川岳紅葉号」として、新潟発水上行で運行される。

車内は2列シート+1列シートで、とてもゆったりしている。グリーン車並みの施設で窓も大きい。キッズルームもあり、さっそく親子連れが遊んでいる。

朝ごはんを食べたり、トランプをしたり、車窓を見たり、あっという間に2時間が過ぎて、「六日町」着。

ここからとなり駅の「塩沢」まで、4.5キロのウォーキングだ。クルマやバイクが騒がしい国道17号から分かれて、のどかな田舎道に行く。どの家も花をたくさん植えていて美しい。越後三山を見ながらのウォーキングは気持ちいいが、10月とは思えない高温で、汗をかきながら「牧之(ぼくし)通り」へ。

牧之通りは、「北越雪譜」で知られる「鈴木牧之」の生まれた街だ。雪景色が似合いそうな古い町並みを歩きながら、塩沢信用組合という金融機関の古い建物で、お茶をいただいたり、和雑貨のお店をのぞきながら塩沢駅着。

上越線普通列車で「越後湯沢」へ。3連休の中日ということで、湯沢駅前はやや賑わいだ。温泉街を歩いて湯沢高原ロープウェイ乗り場へ。世界最大級166人乗りのロープウェイで数分の空中散歩。

頂上に着いたら、まずはビール。標高1000メートルの眺望を売りにした「天空のカフェ」が営業している。素敵な景色を見ながらの屋ビールはもちろん美味しい。

ちょうど「秋の収穫祭」というイベントが開催中だったので、屋台からいろいろと買って、プチ宴会を楽しむ。

紅葉のコキアを見て、高原のバスに乗り、途中からリフトに乗り換えて、高原植物が咲き誇る「アルプの里」へ。のんびり散歩をし、木陰で寝転んでいると、鳥のさえずりや森のざわめきが聞こえる。真っ青な空と白い雲、色づき始めた木々。贅沢な時間だ。

越後湯沢駅に戻り、お土産物屋さんを物色。

帰りも「谷川岳紅葉号」で帰るのだが、この電車、なぜか越後湯沢には停車しないので、普通列車で六日町へ。駅前のきれいな図書館を覗いてから、併設のスーパーで、アルコールとおつまみを買って、帰りの車内でも飲んだ。

JR新潟支社のホームページには、「冬の臨時列車」が掲載されている。快適な列車に乗って、雪見酒などを楽しんでみてはいかがだろうか。



【10月8日(日)】

新	潟	7:40
六	日 町	9:39
(牧之通り)		
塩	沢	11:35
越	後 湯 沢	11:53
ロープウェイ		12:20
湯	沢 高 原	12:30
		15:20
ロープウェイ		15:30
越	後 湯 沢	16:21
六	日 町	16:37
		17:19
新	潟	19:20